

津市監第184号
平成29年10月13日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 高 松 和 也
津市監査委員 駒 田 修 一
津市監査委員 安 藤 友 昭
津市監査委員 田 中 千 福

平成28年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について
(提出)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の平成28年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について、別添のとおり提出します。

記

- 1 平成28年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 平成28年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 平成28年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

平成 2 8 年 度

榑 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「-」・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・金額、比率において、負数のもの

平成 28 年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 28 年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 29 年 8 月 31 日から同年 10 月 11 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 2,214 万 6 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 2,151 万 8 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、財産収入 2,214 万 4 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,143	22,144	100.0	100.0	22,133	86.9	11	0.0
繰入金	0	0	0.0	0.0	710	2.8	△ 710	△ 100.0
繰越金	1	1	0.0	100.0	2,633	10.3	△ 2,632	△ 100.0
諸収入	2	1	0.0	50.0	2	0.0	△ 1	△ 50.0
計	22,146	22,146	100.0	100.0	25,478	100.0	△ 3,332	△ 13.1

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 1,745 万 8 千円、

議会費 161 万 8 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	1,637	1,618	7.5	98.8	1,485	5.8	133	9.0
総務費	393	389	1.8	99.0	809	3.2	△ 420	△ 51.9
財産費	17,979	17,458	81.2	97.1	18,174	71.3	△ 716	△ 3.9
積立金	1,151	1,151	5.3	100.0	1,174	4.6	△ 23	△ 2.0
諸支出金	902	902	4.2	100.0	3,835	15.1	△ 2,933	△ 76.5
予備費	84	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	22,146	21,518	100.0	97.2	25,477	100.0	△ 3,959	△ 15.5

2 財産に関する調書

財産の平成 28 年度中の増減高及び平成 28 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、平成 28 年度中の増減はなく、平成 28 年度末現在高は 1,226 万 4,036 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成 28 年度中に 957 立方メートル増加し、平成 28 年度末現在高は 12 万 74 立方メートルである。

出資による権利については、平成 28 年度中の増減はなく、平成 28 年度末現在高は 84 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高	
土 地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918	
	山 林	直 営	m ²	1,860,307	0	1,860,307
		貸 付	m ²	10,402,810	0	10,402,810
	合 計		m ²	12,264,036	0	12,264,036
立木の推定蓄積量		m ³	119,117	957	120,074	
出資による権利		千円	840	0	840	

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり平成 28 年度中に増減はなく、平成 28 年度末現在高は 2 台である。

表4 物品の状況

(単位：台)

区 分	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高
軽貨物自動車	2	0	2

(3) 基金

基金は榑原財産区財政調整基金で、表5のとおり平成28年度中に115万1千円増加し、平成28年度末現在高は2,502万6千円である。

表5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高
榑原財産区財政調整基金	23,875	1,151	25,026

3 まとめ

平成28年度は、榑原2自治会への貸付契約解消補償金の支払いが平成27年度で終了したことなどにより、財政調整基金からの繰入金が必要としなかったところである。引き続き、中長期的な視野に立った計画的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

平成 2 8 年 度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「-」・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

平成 28 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 28 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 29 年 8 月 31 日から同年 10 月 11 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 40 万 3 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 28 万 2 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰入金 26 万円、繰越金 14 万 2 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	2	1	0.2	50.0	1	0.2	0	0.0
繰入金	578	260	64.6	45.0	280	65.6	△ 20	△ 7.1
繰越金	150	142	35.2	94.7	146	34.2	△ 4	△ 2.7
諸収入	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	740	403	100.0	54.5	427	100.0	△ 24	△ 5.6

(2) 歳 出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、議会費20万5千円、総務費5万6千円である。

表2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	235	205	72.6	87.2	204	71.6	1	0.5
総務費	335	56	19.7	16.7	14	4.9	42	300.0
財産費	136	21	7.4	15.4	65	22.8	△44	△67.7
基金積立金	2	1	0.3	50.0	1	0.4	0	0.0
予備費	32	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	740	282	100.0	38.1	285	100.0	△3	△1.1

2 財産に関する調書

財産の平成28年度中の増減高及び平成28年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、平成28年度末現在高は、土地が13万278平方メートル、建物が木造1棟63平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成28年度中に365立方メートル増加し、平成28年度末現在高は2万2,371立方メートルである。

表3 公有財産の状況

区 分		単位	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高
土地	山 林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河内公民館	m ²	63	0	63
立木の推定蓄積量		m ³	22,006	365	22,371

(2) 基金

基金は河内財産区財政調整基金で、表4のとおり平成28年度中に25万9千円減少し、平成28年度末現在高は465万円である。

表4 基金の状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高
河内財産区財政調整基金	4,909	△259	4,650

3 まとめ

平成 28 年度は、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 64.6 パーセントを占めており、今後においても、歳入全体に占める繰入金の比率は高くなるものと考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

なお、木材の利活用など新たな歳入確保についても検討を望むものである。

平成 2 8 年 度

波 瀬 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「-」・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

平成 28 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 28 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 29 年 8 月 31 日から同年 10 月 11 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 61 万 8 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 49 万 3 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰入金 25 万円、財産収入 13 万 7 千円、諸収入 13 万 3 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	135	137	22.1	101.5	123	15.3	14	11.4
繰入金	250	250	40.5	100.0	500	62.1	△ 250	△ 50.0
繰越金	98	98	15.9	100.0	182	22.6	△ 84	△ 46.2
諸収入	132	133	21.5	100.8	0	0.0	133	0.0
計	615	618	100.0	100.5	805	100.0	△ 187	△ 23.2

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額は、議会費47万1千円、総務費2万2千円である。

表2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成28年度				平成27年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	535	471	95.5	88.0	487	68.9	△16	△3.3
総務費	30	22	4.5	73.3	133	18.8	△111	△83.5
災害復旧費	0	0	0.0	0.0	87	12.3	△87	△100.0
予備費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	615	493	100.0	80.2	707	100.0	△214	△30.3

2 財産に関する調書

財産の平成28年度中の増減高及び平成28年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、平成28年度末現在高は100万9,635平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成28年度中に1,934立方メートル増加し、平成28年度末現在高は12万2,311立方メートルである。

出資による権利については、平成28年度中の増減はなく、平成28年度末現在高は57万円である。

表3 公有財産の状況

区分		単位	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高	
土地	宅地	m ²	1,208	0	1,208	
	雑種地・原野	m ²	887	0	887	
	山林	直営	m ²	1,006,806	0	1,006,806
		貸付	m ²	733	0	733
	合計	m ²	1,009,635	0	1,009,635	
立木の推定蓄積量		m ³	120,377	1,934	122,311	
出資による権利		千円	570	0	570	

(2) 基金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表4のとおりで、平成28年度中に23万8千円減少し、平成28年度末現在高は1,362万1千円である。

表4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成27年度末現在高	平成28年度中増減高	平成28年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	13,859	△ 238	13,621

3 まとめ

平成28年度は、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の40.5パーセントを占めており、今後においても、同基金からの繰入金を必要とする状況が考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

なお、木材の利活用など新たな歳入確保についても検討を望むものである。